

ドライブレコーダー 取付説明書

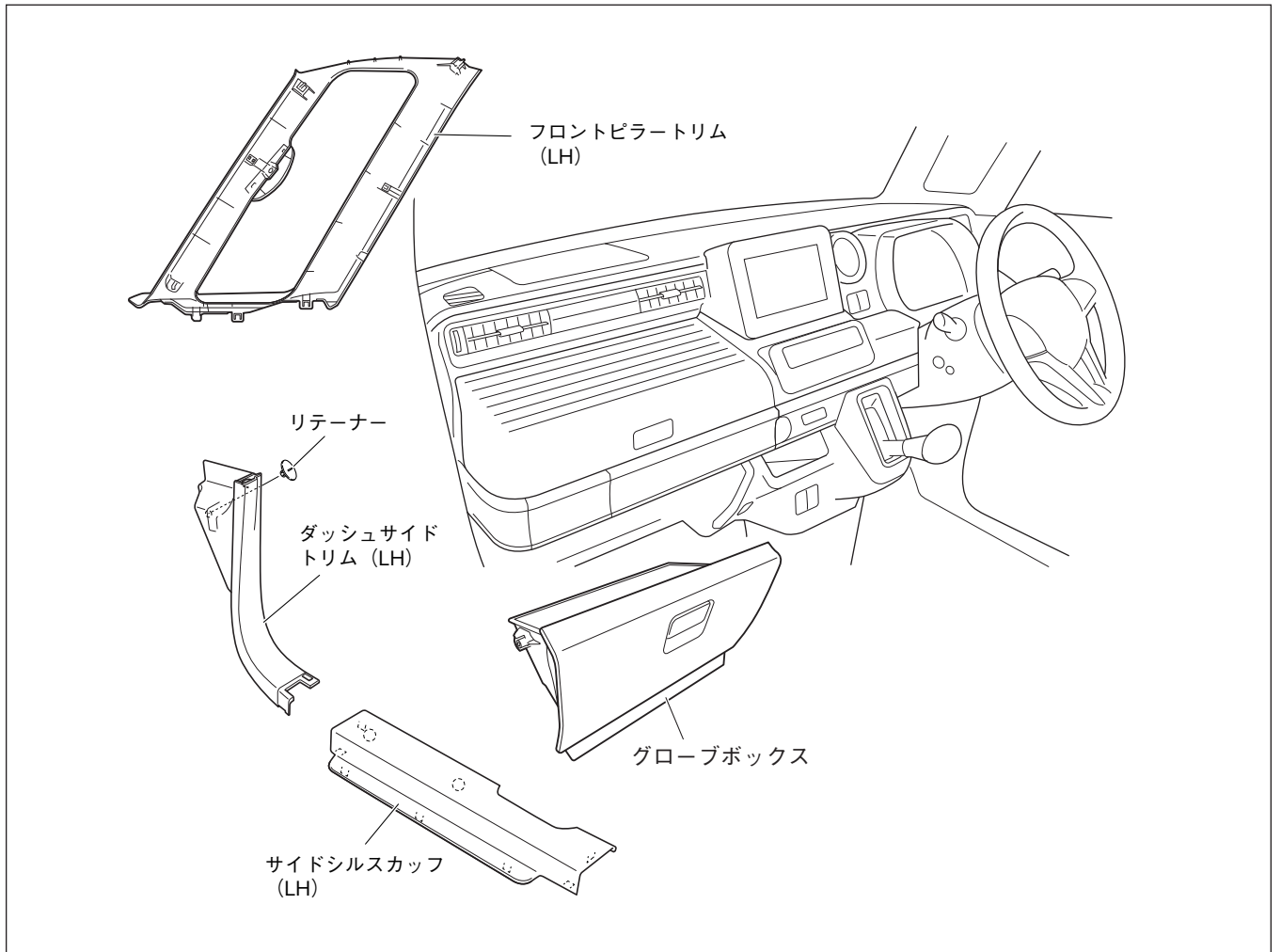
追補版

適用車種および適用年式

品番	適用車種		適用年式
99000-79BP5 (DRV518S)	スペーシア 全方位モニター付メモリーナビゲーション +スズキコネクト対応通信機装着車	MK53S	2021年12月～

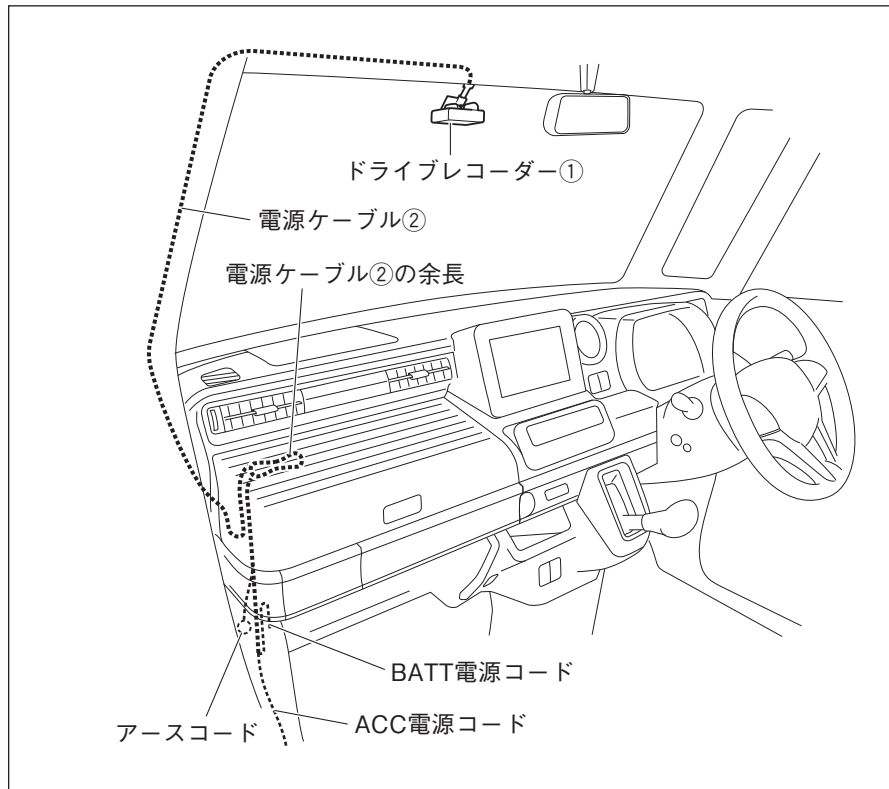
- 上記グレードに本製品を取り付ける場合、電源ケーブル取付位置（ACCおよびBATT電源）が異なりますので、ご注意願います。
- 取付説明書 共通編および車種別スペーシアも参照ください。

1. 車両部品の取り外し



1. フロントピラートリム (LH) を取り外します。
2. グローブボックスを取り外します。
3. サイドシルスカップ (LH) を取り外します。(クリップ2箇所、ツメ7箇所)
4. ダッシュサイドトリム (LH) を取り外します。(ツメ1箇所、リテーナー 1個)

2. 取付概要図



3. 取付位置

4. 取付要領

a. 両面テープ付きブラケットの取り付け

b. ケーブルガイドの準備

- いずれも、車種別スペーシアを参照ください。

c. クッションテープと保護シートの準備

クッションテープ (200×100mm) ⑧

60×70mm A	60×70mm A	40×25mm B	40×25mm B
		40×25mm B	40×25mm C
60×30mm D	60×30mm D		40×25mm C
			40×25mm C

1. クッションテープ⑧を左図のようにカットします。

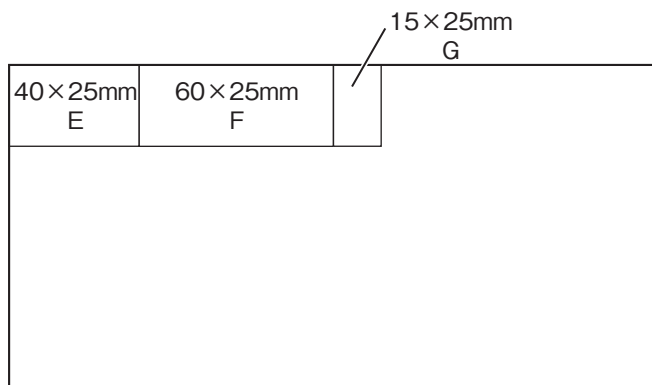
A：電源ケーブル②のヒューズ巻き付け用

B：電源ケーブル②巻き付け用

C：電源ケーブル②固定用

D：中継コネクター③巻き付け用

保護シート (200×100mm) ⑨



2. 保護シート⑨を左図のようにカットします。

E：エッジ保護用

F：エッジ保護用

G：エッジ保護用

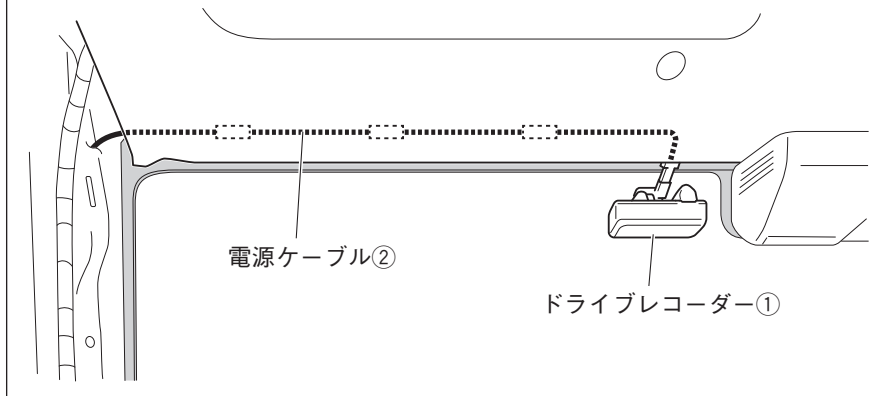
d. 電源ケーブルの準備

e. ドライブレコーダーの貼り付け

- いずれも、車種別スペーシアを参照ください。

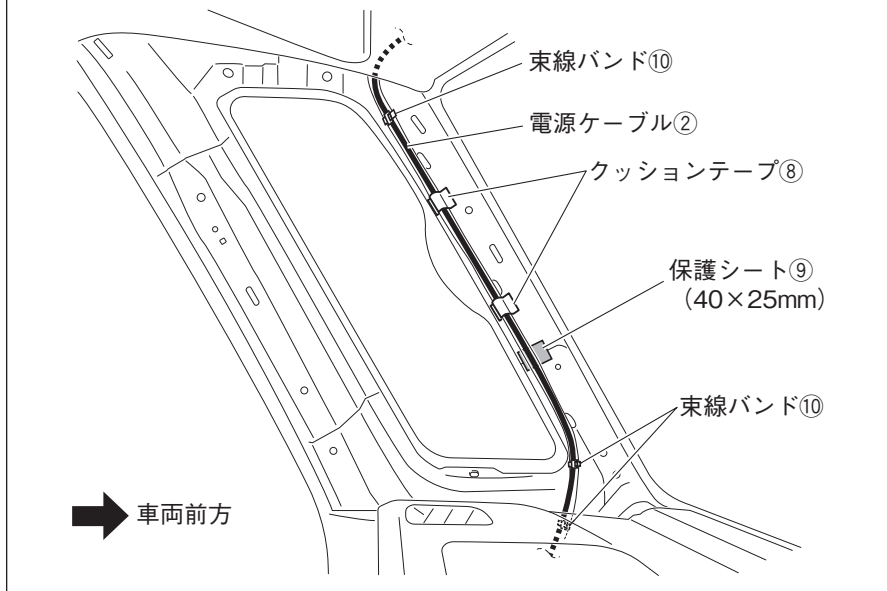
f. 電源ケーブルの配線

<ヘッドライニング部の配線>



1. 電源ケーブル②をヘッドライニング内に入れ込みながら、フロントピラー部へ配線します。

<左側フロントピラー部の配線>



2. 電源ケーブル②をフロントピラーに束線バンド⑩およびクッションテープ⑧で固定しながら配線します。

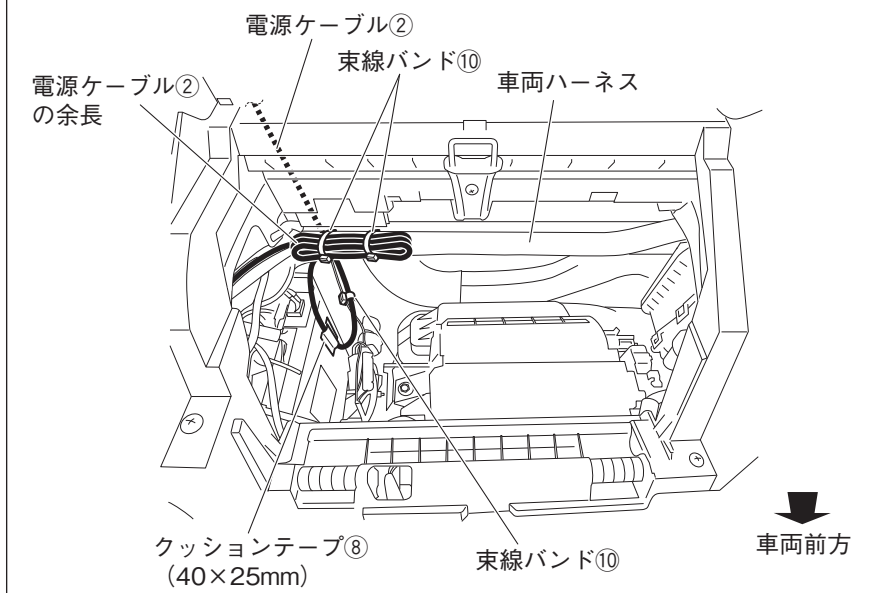
▲ 注意

板金エッジ部に保護シート⑨を左図のように貼り付けてください。

注記

- ・電源ケーブル②、クッションテープ⑧、保護シート⑨および束線バンド⑩は、カーテンエアバッグの部品と接触しないように配策・固定してください。
- ・クッションテープ⑧、保護シート⑨や束線バンド⑩でフロントピラートリムの固定クリップ穴をふさがらないでください。また、フロントピラートリムの当てリブ部と干渉しないようにしてください。

<グローブボックス取付部奥の配線>

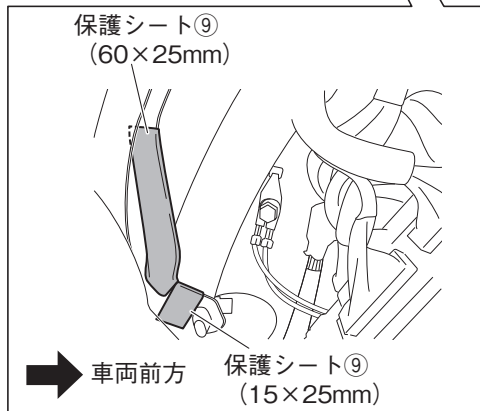
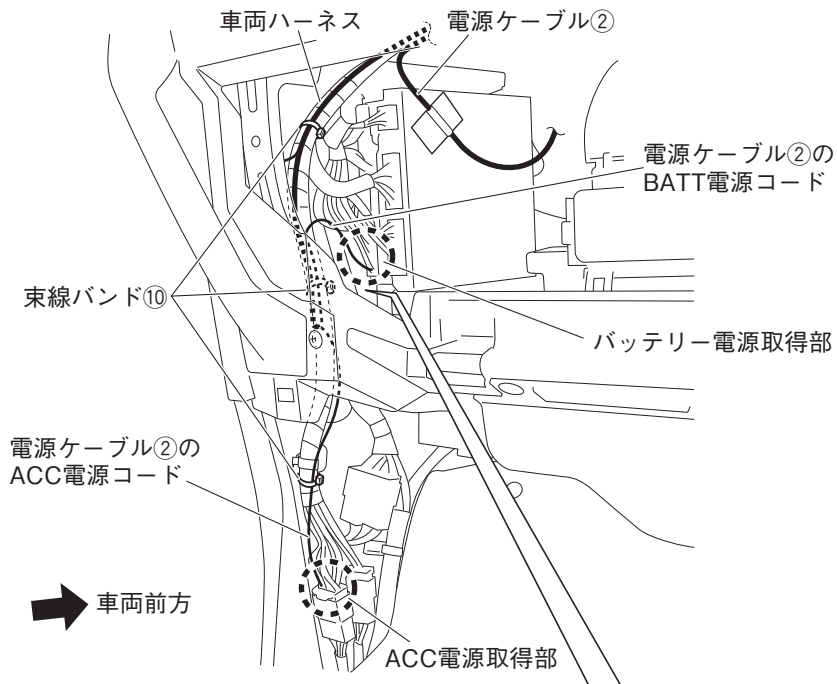


3. 電源ケーブル②を配線します。電源ケーブル②を束線バンド⑩で車両ハーネスに、クッションテープ⑧で樹脂部に固定します。余長は束線バンド⑩で車両ハーネスに固定します。

▲ 注意

2分割されている電源ケーブル②を共通編の「結線図」を参照して接続してください。

<グローブボックス取付部 /
ダッシュサイドトリム (LH) 左側の配線>

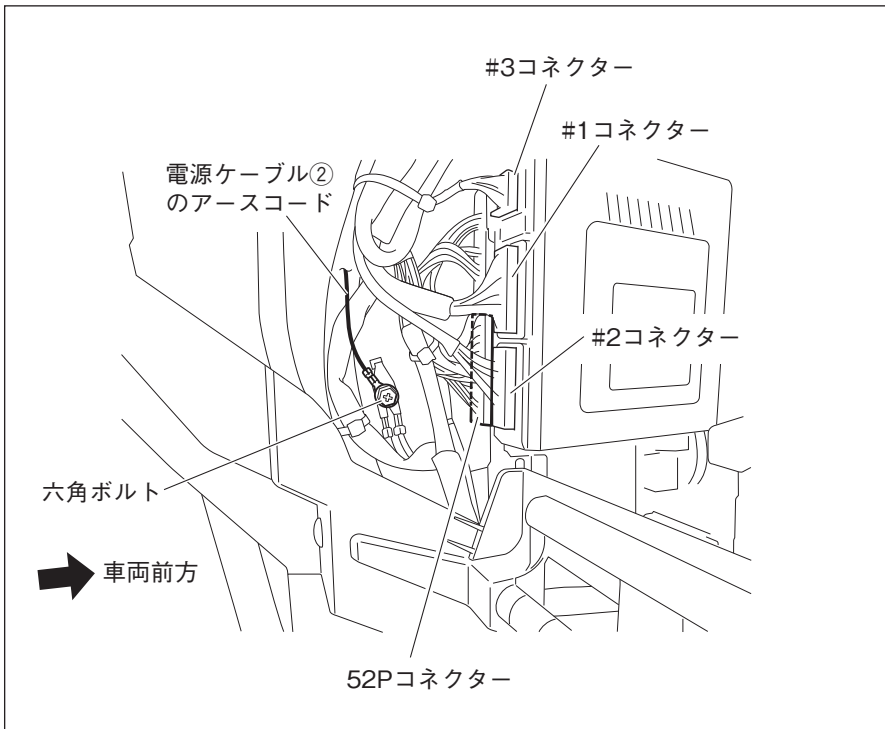


4. 電源ケーブル②を配線します。
電源ケーブル②を束線バンド⑩で車
両ハーネスに固定します。

▲注意

板金エッジ部に保護シート⑨を左図
のように貼り付けてください。

g. アースコードの接続 および ACC 電源、バッテリー電源の取り出し要領



1. グローブボックス左側の六角ボルトにてアースを取得してください。

注記

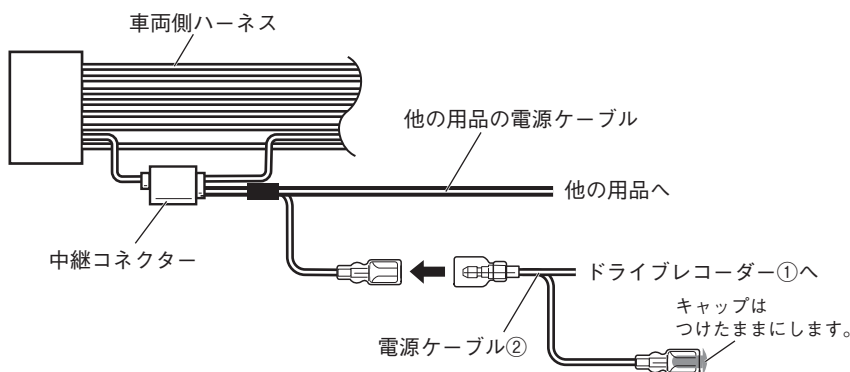
- ・他の用品のアース取得位置と重なる場合は、それぞれのアースコードをずらして取得してください。
- ・アース端子締付け部は、締付け後、端子が動かないことを確認してください。

2. バッテリー電源取得部の52Pコネクターを取り外してください。

注記

- 先に #1, #2, #3 コネクターを取り外してから、52P コネクターを取り外してください。

<同時に取り付ける用品の電源ケーブルにギボシ端子がある場合>

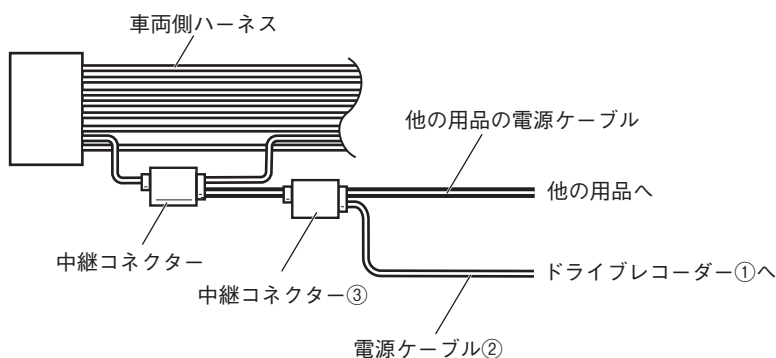


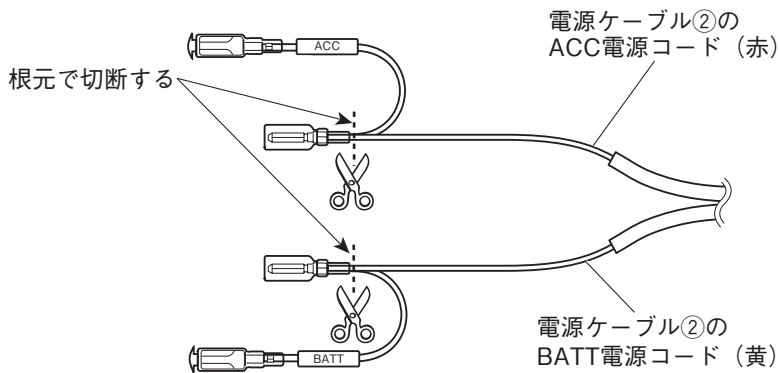
3. 同時に取り付ける用品がある場合、電源ケーブル②のBATT電源コードおよびACC電源コードは、左図の通りに配線します。

注記

- ・同時に取り付ける用品の電源は、最初に接続した電源ケーブルから分岐させてください。
- ・車両側ハーネスのコード1本につき、接続する中継コネクターは1個としてください。

<同時に取り付ける用品の電源ケーブルにギボシ端子がない場合>



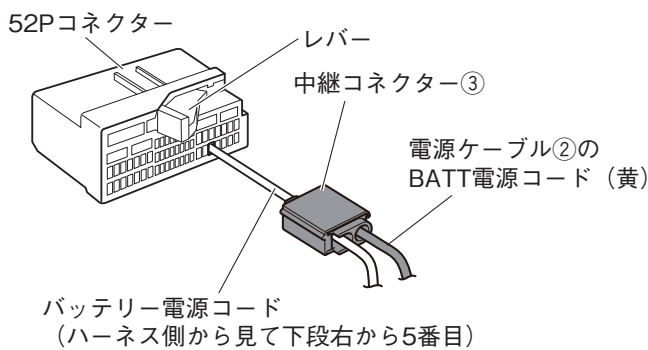


- 中継コネクタ③を使用する場合、電源ケーブル②のBATT電源コード (黄色コード) およびACC電源コード (赤色コード) 先端のギボシ端子部を切断します。

注記

コードを適切な長さにするため、左図の通りギボシ端子の根元で切断してください。

< バッテリー電源 >

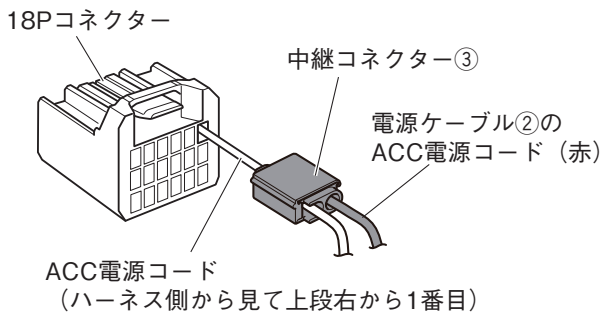


- 52Pコネクタ (灰色) のバッテリー電源コードに電源ケーブル②のBATT電源コード (黄色コード) を中継コネクタ③で接続します。
- 18Pコネクタ (灰色) のACC電源コードに電源ケーブル②のACC電源コード (赤色コード) を中継コネクタ③で接続します。
- 中継コネクタ③接続後、異音防止のためクッションテープ⑧ (60X30mm) を中継コネクタ部に巻き付けてください。

▲ 注意

中継コネクタ③の接続方法は、共通編の「中継コネクタの使用法」を参照してください。

< ACC 電源 >



5. 車両部品の復元

- 取り外しと逆の手順で取り付けます。

- 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクタ類の接続・締め付けトルク等)
- 取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。
- オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。

- ネジの締め付けトルクが規定されているものがある場合は、規定のトルクで締め付けてください。

注記

52P コネクタの枝線がねじれてレバーの操作力が高い場合は、無理に結線しないでください。